

## 第53回 日本人工関節学会 ランチョンセミナー 6、LS6

日本整形外科学会

整形外科専門医資格継続のための単位

単位種別：N（日整会専門医単位）

必須分野番号：11, 13

ORTHOPEDIC SURGERY HIP

# 最も合理的な 人工股関節全置換術を目指して

— 何が必須で何が不要なのか —



慶應義塾大学 整形外科 専任講師

座長 **大矢 昭仁** 先生 Akihito Oya

慶友整形外科病院 整形外科部長・慶友人工関節センター長

Yuki Kitta 演者 **橘田 祐樹** 先生



共催：第53回日本人工関節学会 / ユナイテッド・オーソペディック・ジャパン株式会社 / サージカルアライアンス株式会社

本学会のランチョンセミナーは整理券制です。配布場所：パシフィコ横浜ノース1F総合受付配布日時については、学会WEBサイトをご確認ください。

2023年 | 2月17日 | 金 | 12:00 ~ 13:00 | 会場 | パシフィコ横浜  
(令和5年) | | Fri | | | 第6会場(G312+G313)



座長

**大矢 昭仁** 先生

慶應義塾大学 整形外科 専任講師



演者

**橘田 祐樹** 先生

慶友整形外科病院 整形外科部長・慶友人工関節センター長

## 最も合理的な人工股関節全置換術を目指して

－ 何が必須で何が不要なのか －

### Toward the most rational Total Hip Arthroplasty What's necessary and What's unnecessary?

私が所属する慶友整形外科病院は群馬県にあり、年間4000件を超える整形外科関連の手術を施行している整形外科専門病院である。多くの方に受診していただき、年間400関節近い人工股関節全置換術(THA)を執刀している。しかしそれでも病床と手術枠に限度がある為、手術まで3カ月待ちとなってしまう。有限な枠の中で多くの方を治療するために求められるは、迅速ながら安全なTHAである。

THAには様々な手術アプローチが提案されているが、2016年変形性股関節症ガイドラインにも記載されている通り、各アプローチ間で術後早期以降は臨床成績に差がない。私は主な手術方法としてDirect anterior approach (DAA)を採用している。偏にDAA-THAと称しても細かく観れば術者単位で様々な手法がある。Evidenceと経験を参考に、手術手技の回数・レトラクターの種類・補助器械の使用・器械台の配置と数など一つ一つ丁寧に取捨選択し、片側THAは平均手術時間31.0分、平均出血量159.6g、両側THAは平均手術時間60.7分、平均出血量337.6gを実現している。実際の手術動画を閲覧していただきながら、何が必須で何が不要と判断したのか解説したい。

私は、その手術や術者の「Value」は手術の「outcome」を「cost」で除したものであるという価値観を「core value」としている。2020年4月から2022年7月までに施行した716股のDAA-THAのoutcomeを解析し、人・器械・時間という「cost」の取捨選択の是非を検討したい。

重要な事は自分が持つcore valueと、所属している組織のcore valueが一致する事である。今後どの手技を学びどのような術者を目指すのか迷っておられる先生方や、指導方法に悩んでいる先生方の判断の一助になれば幸いである。



Surgical Alliance inc. サージカルアライアンス株式会社



UNITED ORTHOPEDIC. ユナイテッド・オーソペディック・ジャパン株式会社

